

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



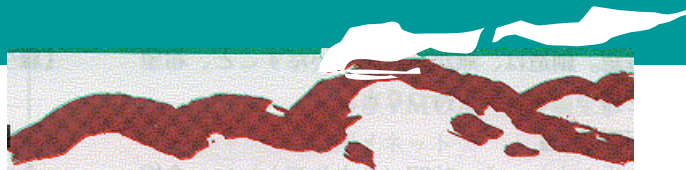
那須ワイズメンズク

2022~2023年度 No.274

## 10月報

那須クラブ会長 主題

### 地域につなげ那須ワイズ IV



強調月間：ASF

#### 今月の聖句 (ワイズ国際聖句)

正義を洪水のように、恵みの業を大河のように、尽きることなく流れさせよ。

アモス5：24

#### 10月第1例会 (アジア学院収穫感謝の日・バザー)

日時：10月15日(土) 午前9時~午後4時

場所：アジア学院 (那須塩原市槻沢 442-1)

内容：毎年恒例の豊かな収穫に感謝するアジア学院の最大のイベント。2年間は、コロナの影響で外部の人を迎えての開催は中止であった。今年は、人数を制限しての開催。那須ワイズとしては、バザーに参加し協力を行う。

\* 10日(月) 午前9時30分に田村副会長宅に集合し、今までの残品の整理と新しくバザーに出すものを持ち寄る。整理のために皆さんの協力をお願いします。

アジア学院収穫感謝の日は、現地に現地9時に集合し、バザーの準備を行います。時間ができれば、礼拝に参加する。

バザーの部署には、3名程度のメンバーが交代で対応する。それ以外のメンバーは、展示等の散策を行う。

2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) K・C・サミュエル(インド)

「フェロシップとインパクトで次の100年」

アジア太平洋地域会長：(AP) チェン・チ・ミン(台湾)

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事：(RD) 佐藤 重良 (甲府21)

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

北東部長：大久保 知宏 (宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

#### クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

#### 9月例会データ (出席率：85.7%)

在籍者 7名

出席者 6名 メネット 2名

#### 10月 Happy Birthday

なし

#### ・11月第2例会 (役員会)

日時：10月28日(金) 午後4時から

場所：田村副会長宅・ZOOM

・11月第1例会 (アジア学院の学生とユースリーダーと共に、日本の文化に触れよう)

日時：11月23日(水) 午後~

場所：遠山師宅

## 巻 頭 言

私の勤務するYMCA特養マイホームきよはらの新型コロナ状況報告第6弾です。

藤生 強

9月に特養マイホームきよはらにて『新型コロナウイルス感染拡大（クラスター）』が発生し、入居者及び職員合わせて約30名が感染しました。基礎疾患等があり入院した入居者は数名いましたが、ほとんどの方は施設内をゾーニングし感染拡大の対処を取りながら療養しました。感染発覚から3週間後には感染した入居者は完治し、新たな感染者も無く、終息しました。

コロナ発覚は、介護職員が熱発し医療機関で検査を受け陽性であったとの連絡でした。すぐさま入居者全員と職員に抗原検査（施設所有の医療用キット）を行ったところ約10名から陽性反応がありました。「オミクロン株の感染は無症状が多い」と言われていることに加え「入居者職員とも4回目のワクチン接種をしていた」ことも関係しているのか、いわゆる“無症状、であったため感染に気が付きませんでした。そして「感染力が強い」こともあり、知らぬ間に感染が広がっていきました。

私たちは、感染予防を講じるのはもちろんのこと、『症状は無いけれど、もしかしたら感染しているかもしれない』と考えて相手と接することが大切と感じました。一刻も早いコロナ禍の終息を祈るばかりです。

Q.1：オミクロン株に感染するとどのような症状が出るの？

A：のどの痛みや鼻づまり、鼻水、せき、くしゃみといった呼吸器の症状や、頭痛や倦怠（けんたい）感（疲労感）、発熱などの全身症状が起きます。筋肉痛や、味覚や嗅覚の異常が生じることもあります。感染者全員にこれらの症状がすべて起こるわけではありません。症状だけで、インフルエンザや通常の風邪などほかの呼吸器感染症と区別するのは困難です。

オミクロン株が登場するまでは、新型コロナウイルス感染症の症状は、発熱、咳などの呼吸器の症状、疲労感、頭痛などインフルエンザなどと共通したものに、嗅覚異常や味覚異常が起こることがあるのが特徴とされてきました。逆に、インフルエンザや風邪でよくみられる、鼻づまりや鼻水は比較的少ないとみられていました。

しかし、ウイルスが鼻やのどなど上気道で増殖しやすいオミクロン株に置き換わり、従来よりも、のどの痛みや鼻づまり、鼻水といった通常の風邪でよくみられる症状が増えてきました。一方で、従来みられた嗅覚や味覚の異常は減る傾向にあります。（朝日新聞RE ライフ NET より）



9月例会 於；那須YMCA 2022. 09. 18

## 9月第1例会報告

日時：9月18日（日）午後5時～

場所：那須YMCA

出席者：河野、田村、村田、鈴木、張、平山の各メンバー、田村、村田メネット、8名

9月例会は、部長の公式訪問とアジア学院の学生さんたちとユースリーダーの交流を計画していたが、コロナの影響で急遽中止となったので、例会を開催し、10月、11月例会の件を話し合った。

### 1. アジア学院との国際交流について

・今回、ユースリーダー（大学生・高校生）に向けて国際交流会を企画し 募集を行ったが参加者がいなかった。

原因：ユースたちは「国際交流を行う」＝「会話」という図式になり「英語がしゃべれない」という理由で参加に消極的だったことがわかった。

改善点：国際交流だが喋らずとも交流出来るワークショップのようなものが良いのではないかなとなった。具体的には毎年11月に行われるお茶会にアジア学院の学生とリーダーを呼び茶道を通して交わりを持つようにしていくことになった。

### 2. アジア学院収穫感謝について

開催日10月15日（土）1日のみの開催

・アジア学院よりの依頼に沿ってコロナ対策のため午前・午後ブースにかかわるに人数を調整する。  
内容：古着販売（新しいものは集めず、現在保持しているものを販売する。）、シイタケ昆布・りんご・秋の贈り物の販売

・田村副会長宅においてある品物の整理を10月10日9時30分より行う。

・コロナの影響で中止となった場合は、当日に例会を行う。

### 3. チャリティーランについて

開催日10月9日（日）9時開始

- ・献金1万円を行う。
- ・シイタケ昆布販売のブースを設ける。
- ・鈴木、張、村田の3名が参加。

### 4. シイタケ昆布の購入個数について

今回は、100個仕入れる。

### 5. 11月第2例会（役員会）の開催について

10月28日（金）午後4時から、田村副会長宅で開催する。

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（第113回）

田村修也

申し遅れましたが、私の名前は田村修也です。田村は「水田の豊かな村」、修也は「生涯学び続ける」

という意味を持っています。私は、1940年この地に生まれ育ち、今年で82才になりました。18才の時に世界的な指導者の賀川豊彦先生から洗礼を授けられて、以来、60年間ずっと西那須野の会員です。ミンゴスの木村真喜子の父親です。※ミンゴスはジョナサン宣教師とパイプオルガン奏者の木村真喜子たちが結成し、始めは西那須野教会で、後アジア学院を会場にゴスペルを歌う会で、「みんなのゴスペル」短縮語で「ミンゴス」と名乗っています。宇都宮大学農学部で林学を、学び、栃木県庁に入り、40年間森林林業の行政に携わった後、栃木県緑化推進委員会理事長、栃木県森林整備公社理事長を務めました。2002年には職を辞して、この素晴らしい西那須野町を更に発展させるために、仲間たちと町長選挙に立候補して選挙戦を戦いましたが、残念ながら、今一步及びませんでした。

現在は、地域の林業振興の活動の他、ギデオ協会の会員として聖書の無料贈呈活動や、ワイズメンズクラブとYMCAで青少年育成と地域奉仕活動の他、毎週火曜日そして金曜日に地域の仲間や高齢者施設利用の皆さんと共に懐かしい歌を歌う活動等に取り組んでいます。

アジア学院とは、創立以前の農村伝道神学校東南アジアコース時代から、西那須野教会の役員として関係を持ってきました。最初に教会で受け入れた研修生は、タイのソンプーン牧師とミャンマーのルー牧師で1962年12月から1年間でした。この時以来西那須野教会はアジア学院と共に歩んできています。

那須野が原の「野」という文字は「農地化されていない広い土地」のことを言います。「原」という文字は「環境が悪くて、農地にすることが出来ない土地」のことを言います。江戸時代が終わって明治時代になるまで、この那珂川と箒川に挟まれた那須野が原には、「水無し川の蛇尾川の両側に5千haずつ約1万haの「野」と「原」が広がっていました。1万haという広さは、東京のど真ん中を走る「山手線」の内側が6千5百haですから、東京都心がスッポリ入ってしまう程の広さなのです。

このような広い土地が、何故、人が住めなかったかと言いますと、先ほど申し上げましたように「水が無かった」からです。何故、「水が無かった」かと言いますと、自然条件として、この地域は蛇尾川の扇状地になっていて、砂や砂利等の河川堆積物が、広く、深く堆積していて、表面水を地中深く浸透させてしまうため、蛇尾川は水無し川となっていると共に、砂礫層が厚いため、井戸を掘ることが殆ど不可



能で、水を得ることが、出来なかったからです。私は高校を卒業して大学浪人中、近くのポンプ店で土方のアルバイトをしていました。その時那須疏水本幹近くの井戸堀に同行したことがありました。掘っても掘っても礫や玉石の層が続いていて、掘り下げの作業中も、何時その礫や玉石が上から落ちて来るか分からなかったことを憶えています。ある時、作業員の頭に落下して、急いで井戸穴から引き揚げられたこともありました。



これは、那須野が原の全体図です。左側の部分が那須西原で現在の旧西那須野町の大部分です。これは、開拓地の地質の断面図です。表層は僅かなススキ等の堆積した黒土と火山灰の赤土、そして厚い砂礫層の状況です。これは、那須野が原の地層の断面図です。地下構造と水脈との関係が表示されています。現在でも水の確保は容易ではありません。動力による水の確保は、農業用水で10mから30m、工業用水では40mから100m、温泉では1000mの掘削が必要です。(以下次号へ続く)

### 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園  
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

静岡県牧之原市の認定こども園・川崎幼稚園の園バスに置き去りにされ、3歳の尊い命が失われました。亡くなられた河本千奈さんに謹んで哀悼の意を表します。ご遺族、関係者の皆様に神様からの慰めがありますように。

これを受けて、国からは安全運行に関する文書や現在のバス運行についての調査が、市からも注意喚

起の文章がきました。

本園の保護者からも、園のバス運行についての問い合わせがありました。

本園も各教師がひとり一冊カリキュラム、も含めた交通安全のマニュアルを持っており、交通安全委員会が毎年4月のバス運行前には、新コースの下見の際に実際にやってもらっています。

園児が降車後は、マニュアル通り乗務者が車内を確認、その後、運転手が清掃、アルコール消毒をするダブルチェックをしているところです。

事故後、下野新聞の取材がありました。誌面には、「命を預かる身としてありえない」という私のコメントがありますが、そのほかに、国の人員配置基準という構造上の問題があることを、記者にお伝えしました。

具体的には、欧米が15人に教師1人とすれば、日本は30人に1人です。乳児の保育園での死亡について、現場保育士の責任もありますが、貧困な保育制度基準も一因と考えています。

今までは、現場努力で防いできたことが、コロナ禍では、無理な状態で続いているからです。

社会は、乳幼児保育施設が開園していませんと、親が仕事に行けないという社会インフラであることを認知しました。しかし、国は、医療、介護、障害には感染危険手当を出しましたが、可能な限り開園することという国がお達しを出している保育施設には何の手当も基準の見直しもせず、感染が拡大している場合は、保育基準を満たさないでも、安全が確保されるのであれば保育可能ということも打ち出しています。

オンラインの出来ない私たちの現場は、日々感染リスクにさらされ、陽性・濃厚接触のスタッフは、長期に休むなかでも、保育の継続だけが求められています。教師のストレスチェックリストでは、有効な対策も考えられず、ここ2年右肩上がりの結果です。人員配置に豊かな本園でさえも、コロナ禍でカウンセリングも出来ず、教師の心的余裕がなく疲れ切っています。一般的な国の配置基準園にあっては、心身ともに疲弊し限界まできている状況です。

子どもと子育て家庭の状況も限界にきているなか、このまま、国による人員配置も含めた見直しがない限り、様々な事故が起きてもおかしくない状況です。そして、これは、幼稚園教師を目指す若者が激減することにつながります。

最後に、前首相は海外に60兆円、現首相は4兆円を支出すると報道されました。衰退途上国日本を支えていく、子ども達、子育て家庭、幼稚園教諭・

保育士のために、その一部でもよいから投資して欲しいです。こどもはこの国の宝ですから。

(しらゆり 2022. 9. 6 加筆修正)

## 聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ  
那須聖園老人ホーム

施設長 薄井 高宏

晴れれば清々しい秋を感じる事が出来るようになりました今日この頃、皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

コロナウイルスの大流行が、徐々に減りつつありますが、ここ半年で聖園那須老人ホームでは、2度のクラスター、1度の陽性反応者の発生を許してしまいました。入所者の方々、職員共に、予防体制に万全を期していますが、巷にあふれる陽性反応者の数の暴力には抗えず、このような結果になってしまいました。

私達職員は、今でも、外食は控え、県外への移動もせず、観光等遊興を目的とした外出も控えている中、観光シーズンに突入する那須町は、他県ナンバーが、休日、平日問わず行き交っています。この我慢の中、職員がそんな光景をどんな気持ちで観ているのでしょうか。このような我慢が何か報われる時が来るのでしょうか。介護職員不足が心配になります。

私に出来る事は、微々たるものですが、せめて、聖園那須老人ホームの職員には、出来る限り報いる事が出来るようにしようと、決意をあらたにしています。

また、入所者の方々への影響も大きく、一度クラスターが発生しますと約1月～1年半は、ゾーニングや隔離期間が続きます。当然、入所者の方々は、その期間出来るだけ自室から出ないよう強いられます。運動不足による筋力の低下、認知機能の低下、食欲の低下や精神的なストレスの増大等で心身機能が目に見えて衰えてしまう方もいます。現に、自立されている方の転倒が数として増えています。毎日の日課も行動が制限されるため、最低限となってしまいます。職員もPPEやゾーニング対応により、仕事量がかなり増量になります。

しかし、いくら予防に力を入れても、巷の絶対数が増える事を政府が許容してしまっている現状では、徒労に終わってしまいます。

いったい世の中は、コロナウイルスを防ぎたいのか、一緒に住む事を許容しているのか分からない中

途半端な状態で私達は振り回されています。この状況は何時まで続くのでしょうか。

今回はとりとめのない愚痴になってしまいましたが、私達介護関係者が現在抱えている、じれんまや矛盾を少しでも知っていただければ幸いです。

タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布（タオル）を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。
- ・まとまった数が集まる場合は（距離によりますが）、お引き取りに伺います。
- ・その他お問合せは、電話番号0287-72-0809 までお願い致します。

## YMCAだより

【第53回全国リーダー研修会が開催されました！！】

9月23日（金）～9月25日（日）に福岡YMCA・熊本YMCA主幹で第53回全国リーダー研修会が開催されました。全国リーダー研修会はリーダー歴が3年以上の経験もしくは各YMCAで今後リーダーシップをとっていくことが期待され、推薦されたリーダーを対象に行われる研修会です。今年は「LOVE～みんなでわをひろげよう～」をテーマに行われていきます。今回、とちぎYMCAからは2名のリーダーが参加しました。また、那須YMCAからは1名のリーダーが参加しました。参加者1人1人にとってリーダーとして、これからは生きていく一人の人間として今ある社会問題や課題に何が出来るのか「ユースリーダーしか持っていない可能性」について深く考えられたようでした。



**【とちぎYMCA・那須YMCAの10月の予定】**

**【とちぎYMCA・那須YMCAの10月の予定】**

- ・10/1(土) さくらんぼ幼稚園運動会
- ・10/9(日) チャリティーラン@ろまんちっく村
- ・10/15(土) サタデークラブ@箱の森プレイパーク
- ・10/21(金) ウィンタープログラムキックオフ & YVLF 報告@宇都宮YMCA
- ・10/22(土) サタデークラブ@箱の森プレイパーク
- ・10/23(日) Yキッズ@荒巻りんご園

**ユースリーダーのつぶやき**

1. 名前(リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言

今月は休みます